

第1学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 しんせつな ころろ (B 親切、思いやり)
教材名「はしの 上の おおかみ」(学校図書)

2 主題について

- ・本主題は、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする態度を養うことをねらいとしている。いじわるばかりしていたおおかみ、くまに優しくされたおおかみ、自分も親切な行為をしたおおかみ等、変化するおおかみの気持ちを考えながら、おおかみに共感することを通して、ねらいとする価値に迫らせたい。
- ・本学級の子供たちは、友達が困っているときには進んで助けたり、分からないことは教え合ったりしている。しかし、自分の思いを優先した言動、相手の気持ちを考えていない言動が見られるときもある。また、読み書きに困難があり話の内容を捉えられなかったり、自分の思いを伝えられなかったりする児童がおり、道徳の時間においても、教材文や友達の発言を正しく捉えられるように支援をしながら進めている。
- ・本時では、「①板書、テレビ等で場面絵を提示することで話の内容を捉えられるようにする」「②役割演技を行うことで自分の意見を考える手助けにする」「③補助発問の吟味をすることで考えを深められるようにする」などの支援を必要に応じて行うことで、どの子供も主題について考え、ねらいとする価値に迫ることができるようにしたい。

3 本時の学習

(1) ねらい

おおかみの心の変化を考え、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

学習活動 学習形態 (配時)	指導上の留意点 ◆評価
1 「きょう かんがえること」を確かめる。全体 (3) きょうかんがえること「しんせつな ころろ」 ・親切って何かな。 ・優しくすることかな。 ・友達に手伝ってもらったことがあるよ。 2 「はしのうえの おおかみ」を読んで内容を確認する。全体 (7) ・さいしょ…みんなが自分の思い通りになって嬉しい。おれはすごい。 ・あるひ…くまにだき上げられて、うしろへそっと下ろされる。 ・つぎのひ…うさぎをだき上げて、うしろへそっと下ろしてやりました。 3 おおかみの気持ちを考える。全体 (28) ◎みんなを追い返していたとき、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。 ・みんなが自分の思い通りになるのは、なんだか気分がいいな。 ・おれの方が体が大きいんだから、小さい動物は下がって当然だ。 ・みんな弱いな。おれが1番だ。いばるのは楽しいから、もっとしよう。 ◎うさぎをだきあげたとき おおかみはどんなきもち？ ・親切にしないと、くまに怒られるかも。(恐れ) ・早く渡りたいよね。この1本しかないもんね。(思いやり) ・くまがかっこよかったから真似がしたい。(憧れ) ・いじわるするより優しくする方が、相手も自分も気持ちがいいな。 ・自分が嬉しかったから相手にもしてあげたい。(親切) ・怖がっているかもしれないから優しく抱っこしてあげよう。(親切) ・自分はいじわるなことをしていたな。わかった。もう大丈夫だよ。(反省)	※「努力を要する」状況と判断する児童への手立て ・①「きょう かんがえること」を毎回の授業で示すことで、ねらいを明確にする。 ・※「みんな、しんせつにした(された)ことある？」と全体に聞いたり、教師が具体例を出したりして親切について考えるきっかけとする。 ・範読の前に①一本橋の上で、おおかみが通せんぼをしているイラストを提示したり、範読をしながらスライドを動かしたりすることで、興味がもてるようにする。 ・※大きく3つの場面に分け、イラストを提示することで話の流れを理解する手立てとする。 ・教師がウサギとなり、子供たちはオオカミになって台詞を読むことで気持ちを考えるきっかけとする。役割演技をより効果的にするために、演技の前に「おおかみがどんな気持ちか考えてみてね」と声をかける。 ・「なぜ、いじわるがおもしろいのだろう」など補助発問を考えておくことで、人間の弱い部分について共感させたい。 ・※発問する場面が変わるときには話の流れを確認する。 ・必要に応じて役割演技をする。教師がウサギの役をし、「また、いじわるをされるかもしれない」など今までのおおかみ自身の行為を感じさせるような言葉を投げかけて、児童をゆさぶる。「どうしてそうしようと思ったのか」などと問いかけることで、行為の根柢にある思いを表出させる。 ・②「自分が親切にされても別にウサギにしなくてもよいのでは？」など補助発問②を考えておくことで考えを深めさせたい。 ◆自分の体験や感じ方とつなげて、身近にいる相手に温かく接し、親切にすることについて深く考え、これからの生活に生かそうとしているか。【発言・つぶやき・態度】 ・②教材を離れて、自己の経験や考え方を見つめ直すようにさせる。授業中や休み時間等の具体例を挙げ、考えられるようにする。
4 自分自身を見つめる。個 (7) ◎誰かに親切にできてよかったな、と思ったことを話し合う。 ・困っている友達に声をかけた。	

<とやま型学力向上プログラム(Ⅲ期)>

- ・視点1 「子供の問題(課題)意識を高める」手立て…①
- ・視点2 「子供が自己調整しながら学習を進めることができるようにする」手立て…②